

平成27年6月30日
自 動 車 局

ご質問いただきました事項については、以下のとおり回答いたします。

【各社共通】

〔ご質問①〕

27年度の事業収支見込みにおいて、運賃改定した場合の逸走率をどのように設定したのか。事業者の申請及び査定それぞれについてご教示願いたい。

〔ご回答①〕

(事業者の申請・遠州鉄道(株))

- 遠州鉄道(株)においては、前回運賃改定前の1年間の「キロ当たり輸送人員」に改定後の走行キロの実績を掛け、自然減少率を見込んだ数字を「期待値」として算出しています。その「期待値」と前回運賃改定後の1年間の輸送人員(実績)の差を逸走率(2.1%)としています。

(事業者の申請・長崎自動車(株))

- 長崎自動車(株)においては、前回の運賃改定時(平成9年12月)の逸走率をもとに、前回改定時と直近の自然減少率の伸び率(傾向値)を掛け、特区運賃を据え置くことを考慮して、対キロ区間制の逸走率を3.0%、特殊区間制の逸走率を2.5%としています。

(国の査定)

○

【遠州鉄道(株)に関して】

〔ご質問②〕

遠州鉄道(株)においては、平成28年度及び29年度においてバスロケーシ

ョンシステムの更新のため約8億円を投資する予定とのことだが、これは今回の査定の中では考慮されていない。2、3年後の収支に影響がでてくると思うが、また改めて運賃の値上げということにはならないという理解でよいか。

〔ご回答②〕

○ 遠州鉄道(株)に確認したところ、平成27～29年度の3ヶ年経営計画を策定しており、一時的に収支が悪化するが、その後、平成30年度には現在の収支レベルまで回復、平成32年度には収支均衡レベルに達すると考えているとのことです。

また、現時点ではシステム更新の投資は今回の運賃改定で全て賄い、その後は安定した経営が出来ると遠州鉄道(株)は考えており、短期間での運賃改定は利用者の理解も到底得られないため、予定していないとのこと。

〔ご質問③〕

浜松市及び湖西市において、地域公共交通網形成計画の作成に向けた具体的な議論はまだ始まっていないとのことであるが、今後の見通しについてご教示願いたい。

〔ご回答③〕

○ 浜松市については、平成17年7月に12市町村による合併により市域が拡大となり、また様々な特色を持つ地域が加わったことにより、それらを有機的に結ぶ総合的な交通体系の構築が必要となっていることから、平成17年度から平成21年度にわたり総合交通計画策定委員会を設置し、平成22年5月に今後の浜松市の交通の方針を示した「浜松市総合交通計画」を策定し、交通結節点の整備や中山間地の道路の整備などの取り組みを行っております。そのため、地域公共交通網形成計画の策定についての議論は今のところありませんが、他の自治体の動向を見ながら対応することとしています。

また、湖西市については、今年6月15日開催の協議会にて地域公共交通網形成計画の策定に向けて議論していくことが決まりました。

〔ご質問④〕

遠州鉄道(株)が申請してきた27年度の事業収支見込みにおける人件費の支給延人員については、遠州鉄道(株)が取り組んでいる間接事務部門の組織変更や業務改善等による削減を織り込んだものとなっているのか。

〔ご回答④〕

- 事業収支見込みについては、乗合部門の見込みであるため、間接事務部門の組織変更等による削減は織り込んでいません。

乗合部門における業務改善による仕事の効率化による効果は、仕事量減による時間外手当の減少や負担感軽減に留まり、人員減には及ばないと見ており、また、組織変更については、これまでも車庫の統合などを行っているところです。

一方で乗合部門の枠を超えた「自動車業」としては、貸切専業の子会社を平成27年1月に吸収合併し、ほぼ同時に遠州鉄道(株)の各営業所の貸切バス部門の営業担当を本社に集約させる等で、管理部門の大幅な合理化を進めております。

〔ご質問⑤〕

「説明及び意見を聴く会」において、利用者が積み残しについて陳述しているようだが、遠州鉄道(株)における積み残しの実情及びその原因並びに対策についてご教示願いたい。

〔ご回答⑤〕

- ご指摘の箇所は「宇布見線」の「西高入口」バス停です。県立浜松西高校は数年前に中高一貫校となり、生徒数が大幅に増えております。朝の登校時は中学・高校と30分程度の時差がある為、それぞれ専用便を出してうまく住み分けが出来ていますが、下校時は時間割や部活の関係で同時となるケースがあるようです。下校の時間帯(16~18時)は、通常10分間隔(1時間に6本)のところを1本上乘せして走っており、また、定期券の運用の中で、学校の近隣を運行している「さなる台線」(通常10分間隔)の「根上り松」バス停での乗降を可能にしておりますが、ピーク時の輸送能力がまだ足りていないようです。学校側への集中回避のお願いとともに、需要動向(曜日・時間)を分析し専用便増便等を検討することとしています。

【長崎自動車(株)について】

〔ご質問⑥〕

「説明及び意見を聴く会」において、利用者がバス運賃値上げは高齢者の生活

を一変させる旨発言しているようだが、長崎自動車(株)のバス運賃について高齢者の利用に対して何らかの優遇等はあるのか。

〔ご回答⑥〕

- 長崎市が高齢者用に回数券(120円券、100円券)を無料で配布しているほか、高齢者用に特化したものではありませんが、長崎自動車(株)においては、平成18年より、10時から17時の間にバスを下車する場合に適用される全区間乗り放題の定期券を6,000円/1ヶ月で販売しており、利用者の9割は高齢者となっております。好評を博しています。